



2011～2012年度

中津平成週報

Rotary Club Of Nakatsu Heisei



2011～2012年度
国際ロータリー・テーマ

こころの中を見つめよう
博愛を広げるために

国際ロータリー会長
カルヤン・バネルジー

国際ロータリー2720地区 **中津平成ロータリークラブ**

会長 二反田新一 幹事 若松 定生 会報担当 矢頭 和敏 クラブ広報委員長 川崎 潤

例会日/毎週木曜日 12:30

例会場/グランプラザ中津ホテル TEL 0979-24-7111

事務局/〒871-0055 中津市殿町1383の1 中津商工会館2F

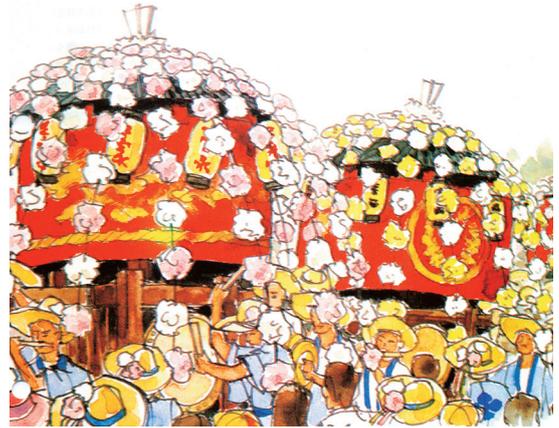
TEL 0979-22-9716 FAX 0979-22-9722

e-mail office@n-heisei.org

<http://www.n-heisei.org/>

第1045回例会 平成23年10月20日(木)

- 本日の例会プログラム 職場例会
高椋クリニック「椋の木」
- ◎次回例会プログラム 会員卓話
小路 東会員



前回(1044回例会)の記録

平成23年10月13日(木)

■ゲスト

米山奨学生
姜楠様

■出席報告

会員数 24名
免除者数 1名
対象者数 23名
本日出席者 20名
欠席者数 3名
出席率 **86.96%**

■ビジター

なし

■前々回出席報告の修正

前々回欠席者 6名

メイクアップ 2名

欠席者 4名

修正出席率 73.91% → **82.61%**

●メイクアップ

清源(中津中央)、矢頭(中津)

●欠席者

岩淵、長野(定)、松本、長野(修)

◎ロータリーソング 我等の生業

◎会長の時間 会長 二反田新一

先週水曜日10/5、アップルコンピュータの共同設立者の一人で、今年8月まで同社CEOを務めていた、ステーブ・ジョブズ氏が亡くなりました。ニュースの大きさを持って、あらためて彼の偉大さを感じました。



わたしとパソコンとの出会いは、今から20年近く前に、会社の売り上げ管理にNECのPCを導入したことに始まります。しかし、この時点でのPCはMS-DOSの時代で、白黒画面でマウスは無く、キーボードのみで操作する何とも味気ない物でしたし、売り上げ管理の目的以外操作する気にもなりませんでした。

本当の意味でのパソコンとの出会いは、それから約3年後、1995年と記憶していますが、地元「中津インターネット研究会」が発足した時です。当時は自分のPCをインターネットに接続させるだけでも大変な知識を要していました。その時、会員のあるお医者の方から「二反田さん、インターネットにはマッキントッシュのPCを使ったほうが楽ですよ」とアドバイスを頂き、早速大枚をはたいて購入しました。Macintosh Performa 5220という型で、アップルコンピュータのマックPCです。元が文系人間で、感覚で物事を把握する私にとっては、大変重宝する代物でした。パソコンの楽しさを教えてくれたのは、まさにアップルコンピュータだったわけで、私とPCの本当の出会いはこの時でした。マックPC購入直後にwindows95が発売され、世間は

大きく騒いでいましたが、マックの真似じゃないかと、冷ややかに眺めていたのを思い出します。

自分が感じる「イイモノ」には、ある種共通点があります。言葉ではうまく表現できないのですが、そのモノの「始まりと終わり」を感じ取れる「かちとしたもの」、コンパクトであること、無駄を感じさせないこと、目的がはっきりしてるもの、最終的に、それらすべてが合わさって「美しいこと」、そんなものに私を含め多くの人たちは魅力を感じるのだと思います。

自分の経験から言うと、中学校時代に友達の父親に乗せてもらったホンダ・シビック、大学生時代に友達が持ってたソニー・ウォークマン、20年前はじめて見た折りたたみ式携帯電話(セルラー)などは、これらのことが共通して感じ取れます。

ものづくりに携わってる私ですが、技術の行き詰まりや、コストの問題等をクリア出来ずに、ある程度の妥協をして製品を開発していくことがよくあります。ステーブ・ジョブズ氏を始め、ホンダの本田宗一郎氏、ソニーの井深大氏、盛田昭夫氏と、トップの強い思い入れを反映させるため、手間ひまかけて開発した製品こそ本当に魅力ある商品になるのだと感じました。

◎幹事報告 幹事 若松定生

- 例会変更 中津RC→11/23(水) 休会、別府中央RC、竹田RC
- 幹事報告





- ・中津RCより11月プログラム届く
- ・ロータリアン誌届く
- ・2011～2012年度ロータリー財団セミナー開催のご案内
- ・ガバナーエレクト事務所より事務所開設のご案内
- ・中津大貞菊花展に対する表彰状の依頼について
- ・中津RCより向笠記念公園説明板完成のお知らせ
- ・米山記念奨学会より寄付金納入のお知らせ
- 理事会報告
- ・11月例会プログラムの承認
- ・向笠記念公園整備事業について再報告
アルミ製掲示板(説明板)を中津市が負担することとなり、3クラブから集まった資金は植木の植栽に活用しますとの事。
- ・奉仕プロジェクト事業、9/25清浄園交流の決算書が新世代担当より提出あり、これを承認する。
- ・第3回クラブ協議会を11月10日(木)に開催予定、参加者は大委員長のみとします。

◎委員会報告 なし

◎その他報告事項

清源会員へ長女出産のお祝いを贈呈。



◎ニコニコボックス 担当:クラブ管理運営委員会

◎清源会員

出産のお祝い有難うございます。子供は順調に成長しています。

◎加来会員

結婚記念日(10月9日)にお花を頂きました。有難うございます。結婚23年目を迎えます。

◎熊谷会員

結婚記念日(10月11日)にお花を頂きました。有難うございます。結婚41年目を迎えます。

◎出納会員

清浄園の交流事業有難うございました。

◎岡野会員

姜楠様、卓話をよろしくお願ひします。

◎長野(修)会員

清浄園との交流事業ご協力有難うございました。第4回JOCナショナルコーチアカデミーが開催され、8週間の講習を受講し、コーチの資格を取得しました。

◎二反田会長

姜楠様、卓話において頂き有難うございます。

◎渡邊会員

大分県内のゴルフ場30箇所全てで、ラウンドする事を達成しました。

◎歴代会長ミニ卓話

「姉妹交流に関する話」 永松会員

平成元年に4つのRCが誕生しました。我がRCが他の3つのRCに呼びかけをし、姉妹クラブを締結しました。平成2年5月7日に壽崎壱ガバナーをお迎えし、俵茶屋で調印式を行いました。姉妹交流はロータリーの中でも最も楽しい事業だと思います。皆さん積極的に参加をしましょう。来年は加古川で行われます。たくさんメンバーで行きましょう。

◎ゲスト卓話

「生まれ変わる第二故郷」 米山奨学会 姜楠様

皆さんこんにちは。私は別府大学文学部国文学科4年生のキョウナンです。キョウは三国志の諸葛亮の弟子姜維と同じ姜です。ナンは木偏に南と書きます。



中国上海から来ました。父は上海出身、普通のサラリーマンでした。母は吉林省出身、デパートの職員でした。今は二人とも定年になっています。

実は私の名前は私の家族にとって、深い意味があります。私の生まれたところは中国の北の方にある吉林省四平市です。私は一人子ですが、上には姉がいました。でも、私が生まれる前に事故で亡くなりました。この事は両親にとって、ものすごく衝撃だったそうです。そして、私が生まれて、両親は同じ都市で育てれば、また事故が起きてしまうかもしれないと思い、私が4歳の時に、私を上海に送りました。「楠」という字には家族が私の根を南の上海に根ざしてほしいという意味があ

ります。これらの事は全部両親から聞きました。実は、4歳より前の事は全く覚えていません。私の記憶の始まりは上海に行った後です。

上海は私が成長した都市です。中国で一番大きな都市です。人口は2,300万人位です。面積は6,340平方kmです。私は都心に住んでいました。住んでいた家は中国共産党第二次全国代表大会の旧跡でした。自分でもなげ、このような珍しいところに住んでいたのかと驚いています。そして、その理由は今でもはっきり分かりません。

私が一番好きな食べ物は「生煎」です。「生煎」は小さな焼き饅頭みたいな食べ物です。皮がフワツとして、焼いたところがサクツとして、中はジューシーな上海の軽食の代表ともいえる食べ物です。もし上海に行ったら、ぜひ食べてみてください。

それから、皆様に勧めたいのは「外滩」と言うところです。「外滩」に立つと、歴史の流れが見えます。西側に歴史の建物「万国建築」があり、東側に「東方明珠」や「環球金融中心」など現代技術で建てられた建物があります。西側は「過去」、「昨日」、立っているところは「現在」、「今日」、東側は「未来」、「明日」の形になります。景色はともかく、哲学の道理もあるところです。ここもぜひ行ってみてください。

時々、上海は一人の人間と感じます。最初のわからないから、詳しくなります。最初の不安から、親しみになります。最初の無関心から、好きになります。自分が成長するとともに、上海も成長しています。まさに上海は自分の友達の存在になりました。そして、今のような友達ももう一人います。その名前は別府です。

日本に来た1日目のことは、まだビデオのように記憶に残っています。福岡から別府までの間は正直に言うのがっかりした心がありました。先進国なのに田舎の様だと思いました。でも、バスから別府湾を眺めた瞬間そんな気持ちはみな消えました。上海にも海があるし、山もあるけど、別府の海と山はすっきりとせず綺麗だと思いました。バスから降りて、初めて別府の空気を吸った瞬間、私は別府が好きだと思いました。それから1週間、歩いて別府を廻ってみました。この先もずっと別府に住みたい、私の住む街になるのかなという思いが自然に芽生えてきました。今はもう3年半たちました。この思いは変わっていない、むしろもっと強くて心の底からそう信じています。もしできれば、ずっと別府に住みたいです。こう言ったら、必ず聞きたくないのは「その理由はなんですか」と思います。私の答えは、この街で生活し私は生まれ変わりました。この街は私の第二故郷となったからです。

日本に来る前の私はまだ子供でした。両親はいろいろな面倒を見てくれるから、わがままばかり言うていました。勉強は嫌だし、授業はさぼるし、遊びばかりしていました。

その時もよく「将来は何がやりたいか、何の夢があるのか」と聞かれました。私の答えはそれぞれでした。なぜなら、自分の将来を真剣に考えたことはありませんでした。でも、別府に来て変わりました。

まずは、自分で自分の面倒を見ることです。もうわがまま言いません。両親に負担をかけたくないため、なるべくお金を自分で稼ごうにしました。それから、しっかりと学校に行き、授業に出席し、一生懸命に勉強しました。いつも好奇心を持って、よく聞くようになりました。そして、将来の為に英語や簿記などを独学で学びました。これらは当たり前のことかもしれませんが、私が変わったかな?と思う部分です。

私は別府が好きです。綺麗な街、穏やかな雰囲気、情熱的な人々、これらは私の別府に対する印象です。最近レジェンド・オブ・ザ・シーズが別府市に来て、通訳として活動に参加しました。そのとき、よく中国の観光客に「上海と別府はどっちがいいの」と聞かれました。私は堂々と「私は別府が好き」と答えました。私は別府が好きです。小さな街だけど、世界各国の人がいます。韓国、バングラデシュ、ベトナム、アメリカ、イタリア、さまざまな国の人と交流ができます。まるで世界村のようです。私は別府が好きです。この街で私は自分の夢を見つけました。将来、上海ですし屋を作りたいです。すし屋を通して、日本文化を中国の皆に伝えたいです。夢を見つけたとき、私は人生の「外滩」に立ったようです。自分の過去を思い返し、今を握り締め、未来に向かって望むことができました。夢を見つけたとき、なんとなく自分の人生の道にビーコンを見た気がします。別府は私を変えました。もっと深くいうと、別府は私の人生の再出発街です。ですから、別府は私の第二故郷です。

別府に住んでいるから、私は大分を知ることができました。そして、大分県にいるから、九州を知ることができました。これからは、別府を原点として、日本全体を知りたいです。だから、私は日本での就職を決めました。就職をして、日本社会に飛び込んで、学校とは別で日本の社会、文化、風俗などをもっと知りたいたいです。今は、この決意を実行できるように、一生懸命に頑張っていきます。ご静聴ありがとうございます。